

A large container ship with a black hull and red bottom is sailing on a blue sea. The ship is loaded with many colorful shipping containers (red, yellow, blue, green). In the background, a port with several cranes and other ships is visible under a blue sky with white clouds.

補助金を活用した 貿易PF連携の促進

株式会社トレードワルツ
営業本部

トレードワルツの事業概要

TradeWaltz®

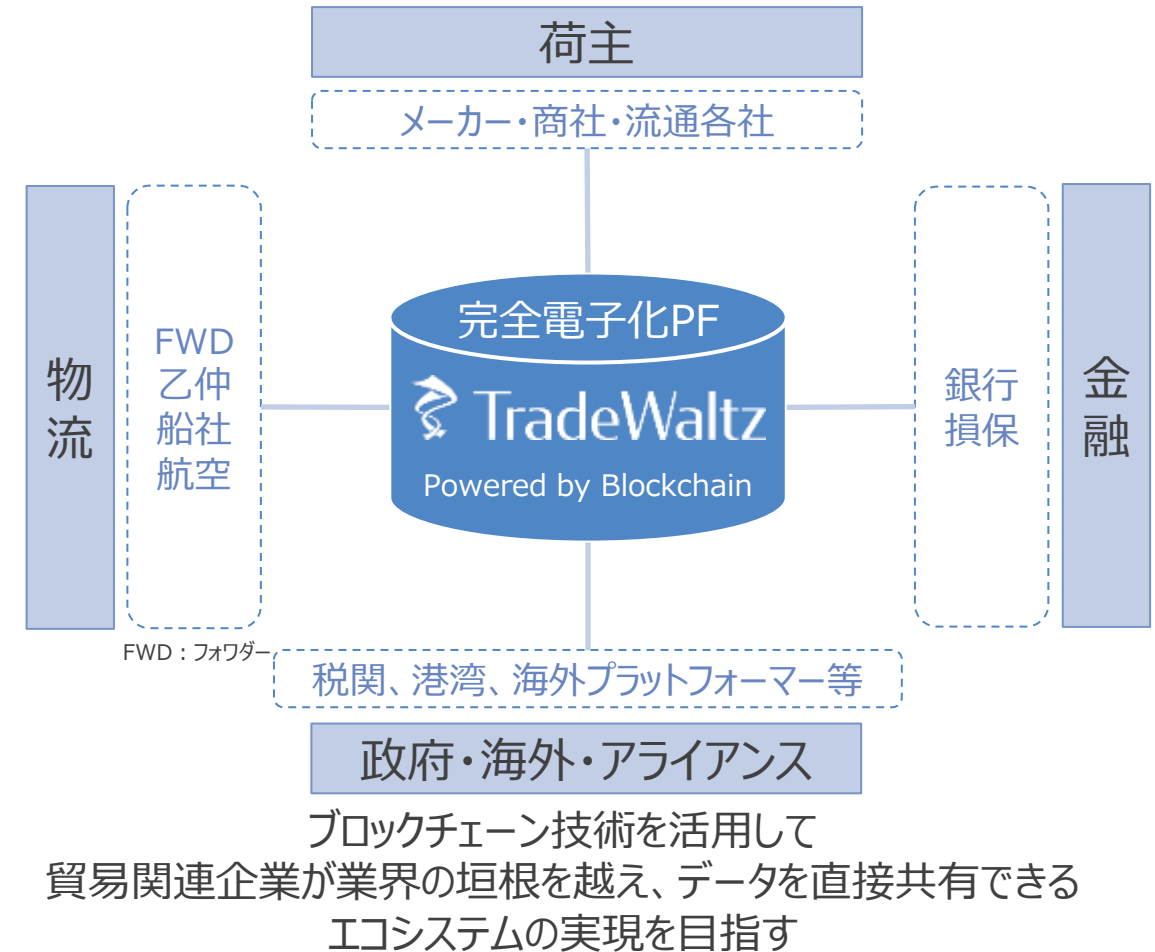
目的外使用・開示・無断複製・転載禁止

会社概要

会社名	株式会社トレードワルツ
代表取締役 社長・CEO	佐藤 高廣
設立年月日	2020年4月1日（同年11月より事業開始）
URL	https://www.tradewaltz.com
株主一覧 (累計出資総額56.5億円)	・株式会社エヌ・ティ・ティ・データ ・豊田通商株式会社 ・東京大学協創プラットフォーム開発株式会社 ・住友商事株式会社 ・三菱商事株式会社 ・株式会社TW Link（兼松JV）※ ・東京海上日動火災保険株式会社 ・豊島株式会社 ・株式会社上組 ・株式会社フジトランス コーポレーション ・三井倉庫ホールディングス株式会社 ・株式会社日新 ・株式会社三菱UFJ銀行 ・丸紅株式会社 ・三菱倉庫株式会社 ・損害保険ジャパン株式会社
Mission	Create the Future of Trade / 貿易の未来をつくる
事業内容	貿易プラットフォーム「TradeWaltz®」をSaaS提供（2022年4月～）
ISMS認証	ISO/IEC27001・IEC27017取得（2022年2月）   

※TW Link（JV）：兼松株式会社、鈴江コーポレーション株式会社、川西倉庫株式会社、大東港運株式会社、富士倉庫株式会社 で構成されるTradeWaltzを普及するための戦略投資会社

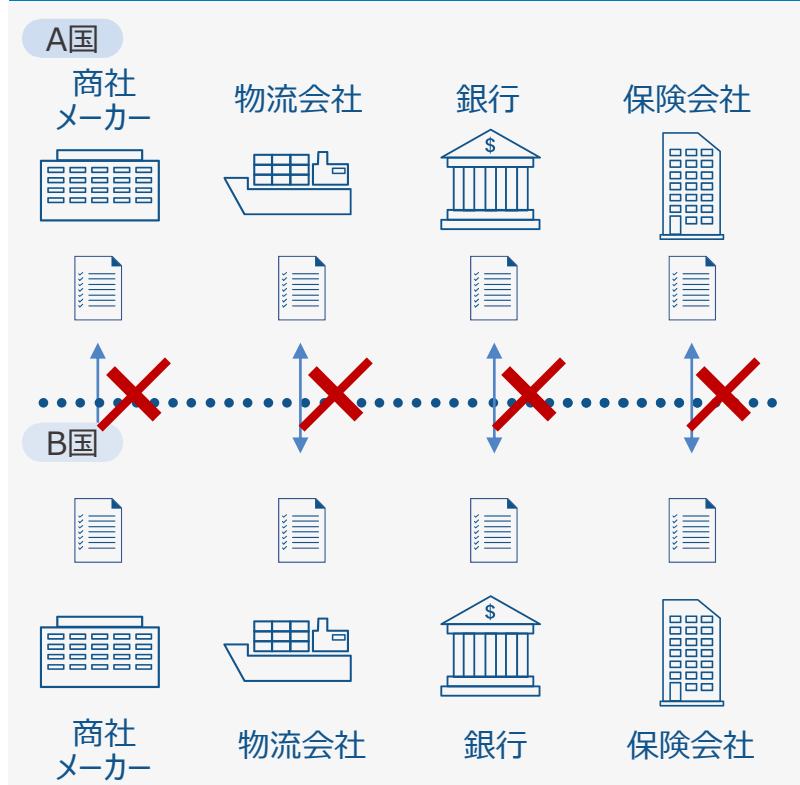
産官学連携ALL JAPAN体制で貿易電子化に取り組む 産業横断型の貿易プラットフォーム



≫ 関係者が多岐にわたる貿易実務のデジタル化は課題が多く、デジタル化が遅れています

貿易手続きの多くは紙やPDFなどのアナログ手段で行われており、多くの時間は紙データの打ち換えや書類作成などのマニュアル作業に取られています。これらはこれまでも課題でしたがコロナ禍で顕在化しました。

現在のアナログな貿易手続き



1 時間がかかる

▶ **72 時間**/日本で輸出入を1回ずつ

*ASEANでは235時間かかり、デジタル化が進むEUの111倍の時間がかかる
出典) 世界銀行調査

2 コストがかかる

▶ **342米ドル**/取引が日本でかかる

出典) 世界銀行調査

3 在庫や物流ステータスが不明瞭

▶ 膨大な紙やPDF、WEBサイトに**情報がバラバラ・属人的**

出典) ASEAN-経団連 貿易電子化部会

4 通関知識を持つ人材の枯渇

▶ **少子高齢化の影響**など

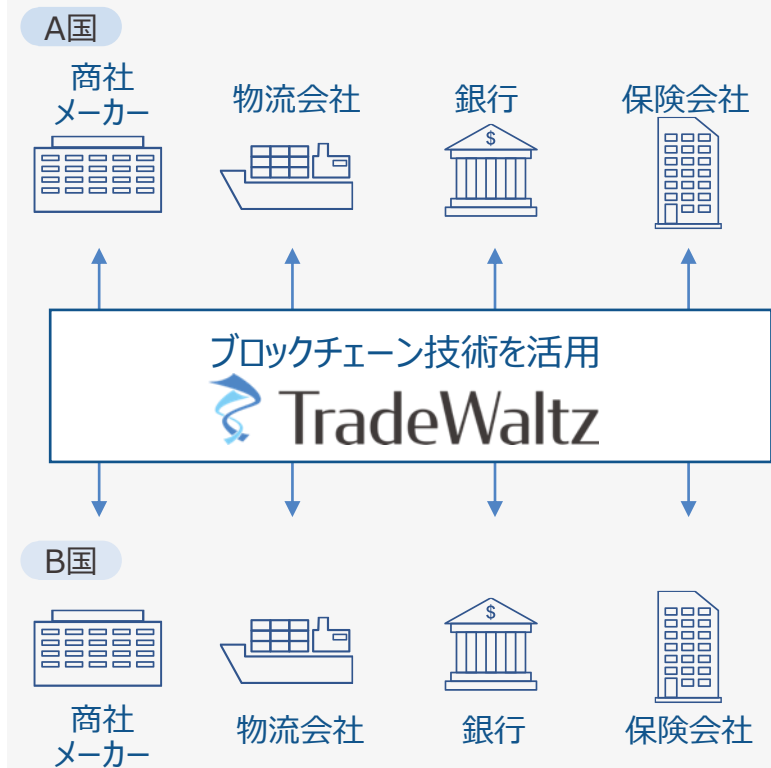
出典)コンソーシアム企業ヒアリング、派遣業界ヒアリング

トレードワルツが提案する解決策

≫ TradeWaltzは貿易実務における関係者間のコミュニケーションをデジタル化し、一元管理します

TradeWaltzはブロックチェーン技術を活用し、産業横断的にB2Bコミュニケーションを行う、貿易情報連携プラットフォームです。このサービスを活用することで貿易実務者の課題を解決していきます。

これからのデジタル貿易手続き



1 手続き時間を短縮

▣ **47%** 短縮(日系メーカー様 利用実績)

*ASEANでは60%以上短縮
出典) 日本の数字は日系メーカー様の利用実績から。海外は2022年PoC結果

2 手続きコストを削減

▣ **44%** 削減

出典) 2018-2019年のPoC結果より算出

3 在庫や物流状況が可視化・一元化

▣ 情報が貿易プラットフォーム上に集まり、ダッシュボード化

出典) ASEAN-経団連 貿易電子化部会

4 特殊な知識が不要になり人材増加

▣ システムによってコンプライアンスチェックや申請をサポートすることで、若手が参加可能

出典) TradeWaltz開発ロードマップ

電子貿易取引市場に参入、多業種の国内企業中心に利用拡大

輸出輸入製品版

2022年4月リリースし **68**社が有償利用
※2024年3月時点

お客様の例

 Mitsubishi Corporation

 TOYOTA TSUSHO

Marubeni
丸紅株式会社

 MITSUI-SOKO HOLDINGS

 MUFG

HANKYU HANSHIN
EXPRESS

NEX NIPPON
EXPRESS

FUJIFILM
Value from Innovation

 東京海上日動

KWE 近鉄エクスプレス

 MITSUI & CO.
三井物産株式会社

Nishitetsu

AGC
KOBELCO

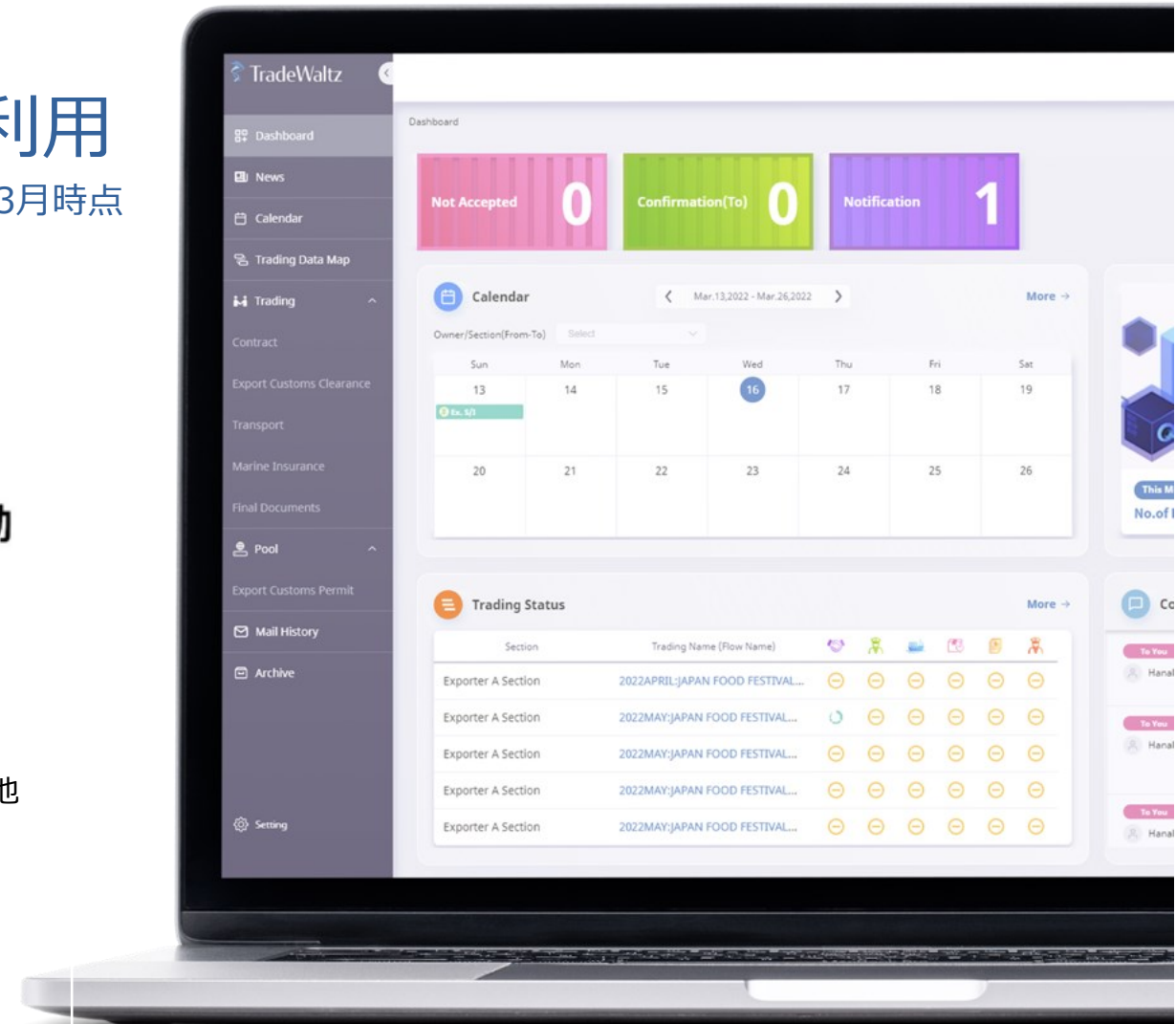
荷主 兼松株式会社、豊田通商株式会社、富士フイルムロジスティックス株式会社、
三菱商事株式会社、三菱商事ファッション株式会社、三菱商事プラスチック株式会社 他

物流 株式会社上組、株式会社近鉄エクスプレス、
株式会社阪急阪神エクスプレス、日本通運株式会社 他

金融 株式会社三菱東京UFJ銀行

保険 東京海上日動火災保険株式会社、損害保険ジャパン株式会社 他

(※社名記載：50音順)



国内外の貿易電子化に向けた政府の動き

1. 「貿易手続きの電子化」が政府の重点政策に

初めて「骨太の方針」と「新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画」に「貿易手続き電子化」が記載された

2. 「日ASEAN経済共創ビジョン」にも記載

日ASEANで貿易手続きをデジタル化する仕組みの展開に向けて連携していく旨、発表された

3. 経産省主催「貿易PF利活用促進に向けた検討会」開催

貿易関係者が集まり、貿易手続きの課題や利活用に向けた戦略について議論。昨年度は3回開催された。

貿易プラットフォーム利活用補助金

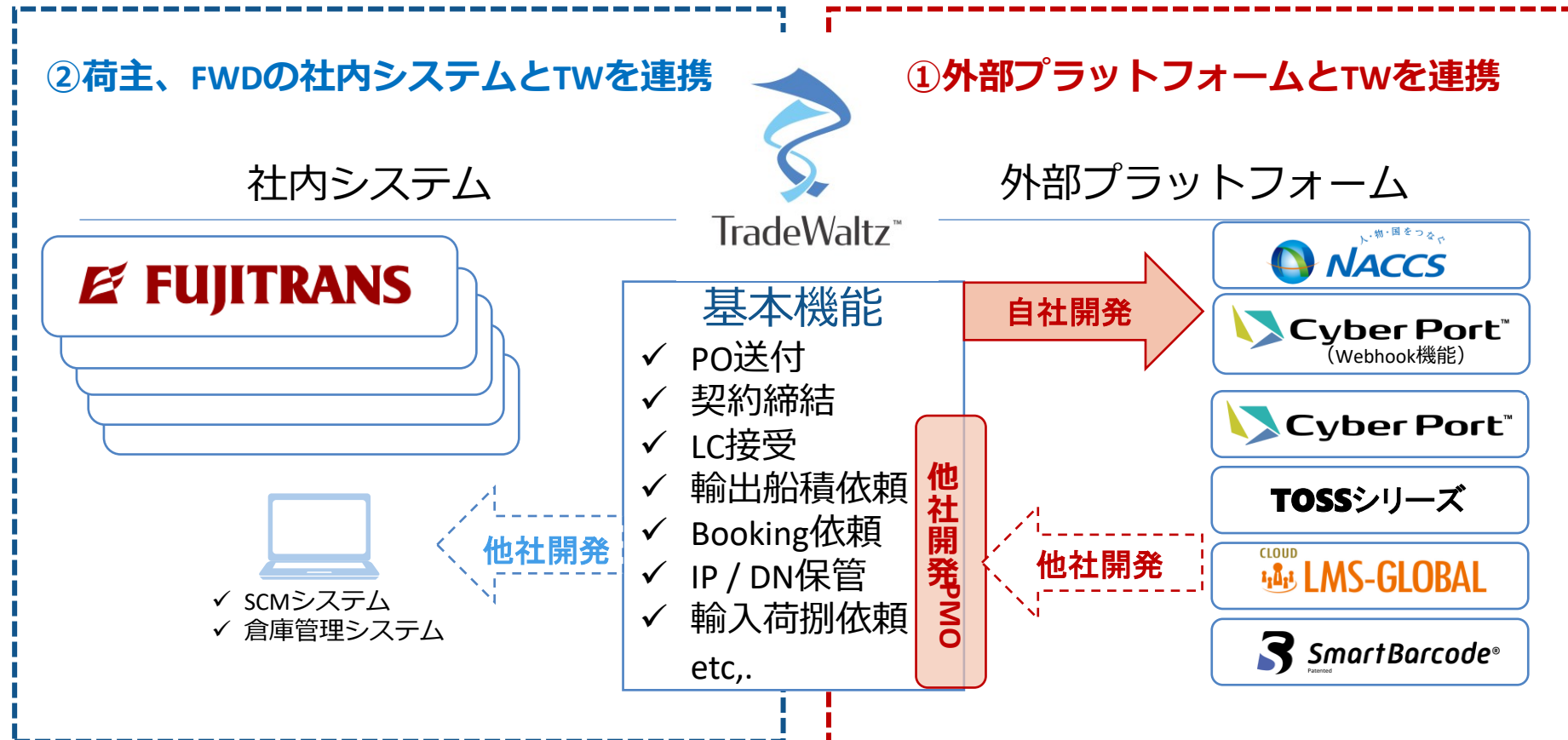
TradeWaltz®

目的外使用・開示・無断複製・転載禁止

トレードワルツの補助金活用事例

昨年度は、以下の2パターンで補助金を活用。

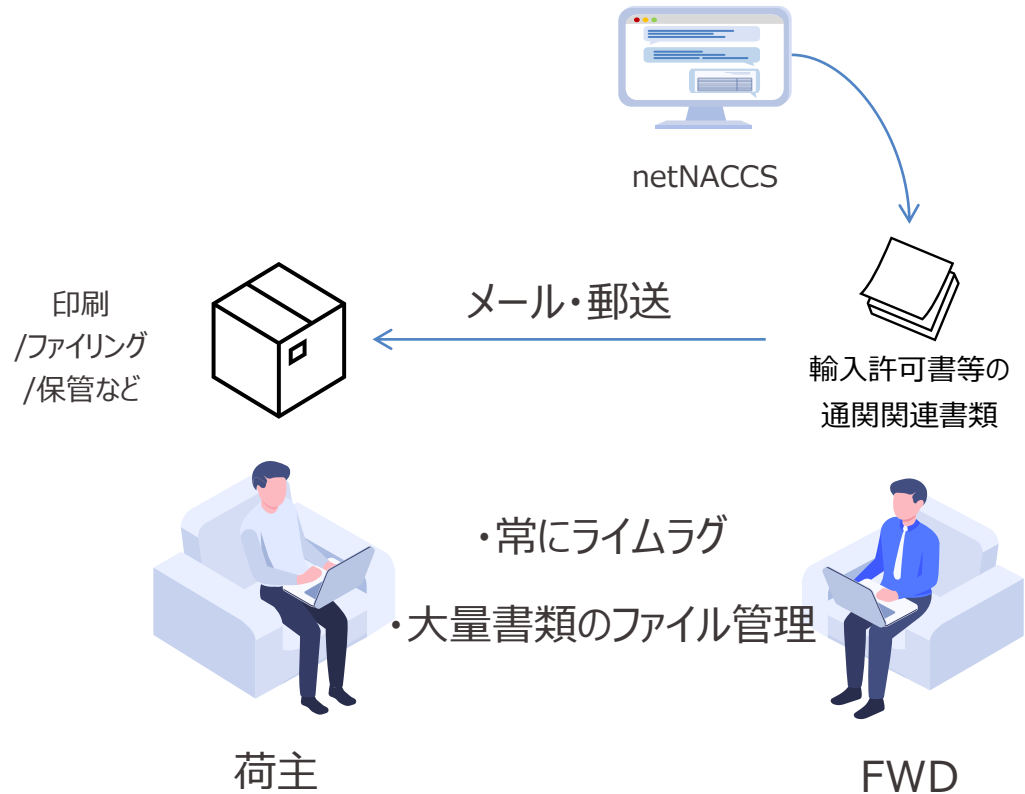
- ①**トレードワルツ**：外部プラットフォームとTradeWaltz（TW）を連携し、**機能を拡充**
- ②**ユーザー企業**：社内システムとTWを連携し、**荷主-FWD連携を実現**



外部プラットフォームとTradeWaltzの連携：netNACCS連携

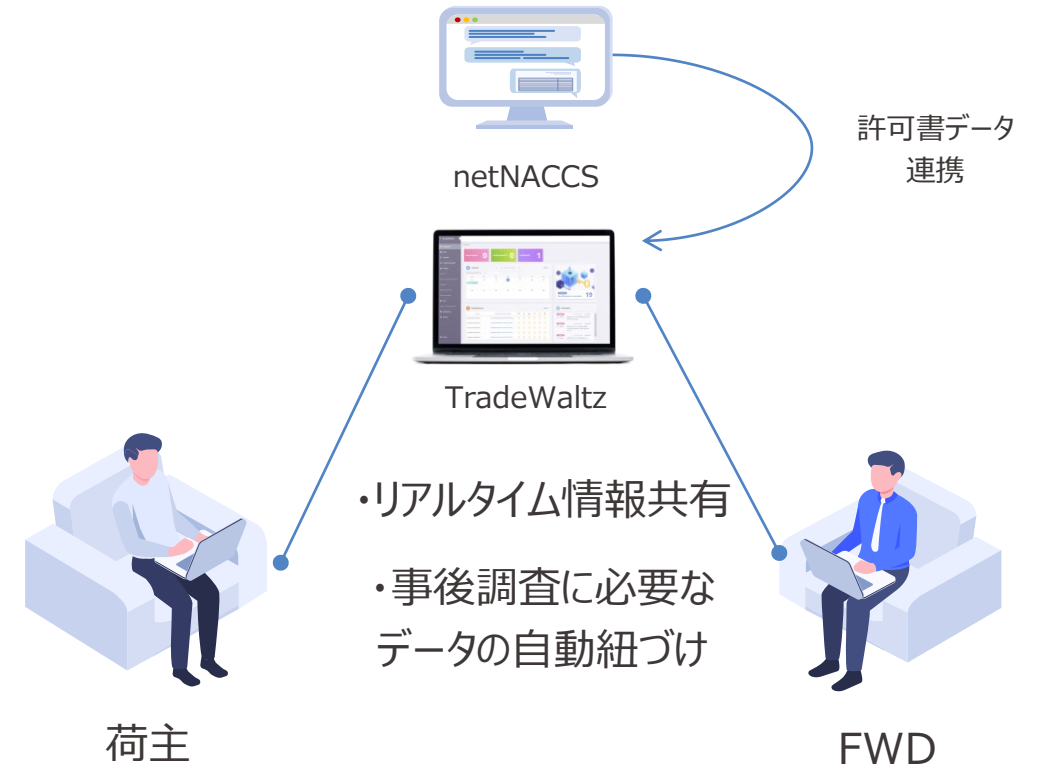
- ・輸入関係書類の全面電子化
- ・コンプライアンス遵守と業務負荷削減（ファイリング・事後調査対応）

Before



紙での書類保管とコンプラ違反の温床に

After



業務効率化とコンプライアンス強化

外部プラットフォームとTradeWaltzの連携：実利用ユーザーの紹介

- ・兼松様が貿易関連書類をTradeWaltzでの電子保管に切り替え
- ・事後調査の業務負担軽減・効率化、コンプライアンス経営の強化に貢献



[トップ](#) / [物流/港運の記事一覧](#) / [この記事](#)

印刷

2024年04月23日 デイリー版1面 [物流/港運](#)

兼松、貿易DX 輸入電子化。トレードワルツ活用、事後調査の負担減

兼松は貿易情報連携プラットフォーム（PF）「TradeWaltz」を活用し、貿易関連書類の電子化を進める。1日から全部門の輸入業務で、貿易関連書類をTradeWaltzでの電子保管に全面的に切り替え、新規の紙保管を廃止した。貿易業務のデジタルトランスフォーメーション（DX）を推進することで税関からの事後調査の業務負担軽減・効率化、貿易コンプライアンス（法令順守）体制の大幅強化を図る。

事後調査は税関職員が輸出入事業者の事務所を個別に訪問し、不適切な申告がなかったかなど、関係帳簿・書類を確認する調査。企業は関税法上の規定で、帳簿や輸入許可通知書、インボイスなどの貿易書類を5年間、保存する義務がある。

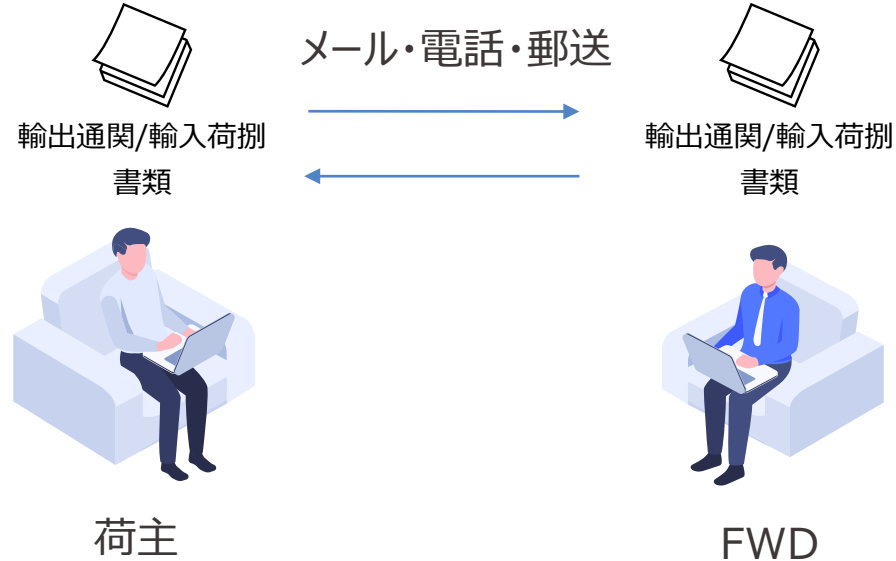


紙面ビュー

お客様企業のトレードワルツ連携：荷主・FWDの例

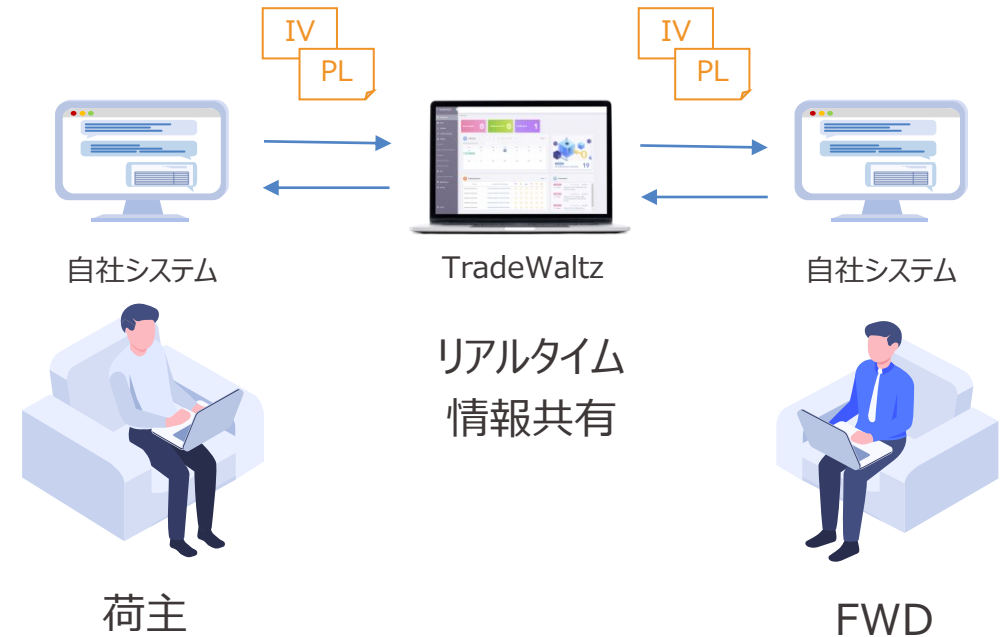
- ・メールや郵送で対応していた帳票類の電子化、**貿易データの一元管理**を実現

Before



アナログ・属人的プロセス

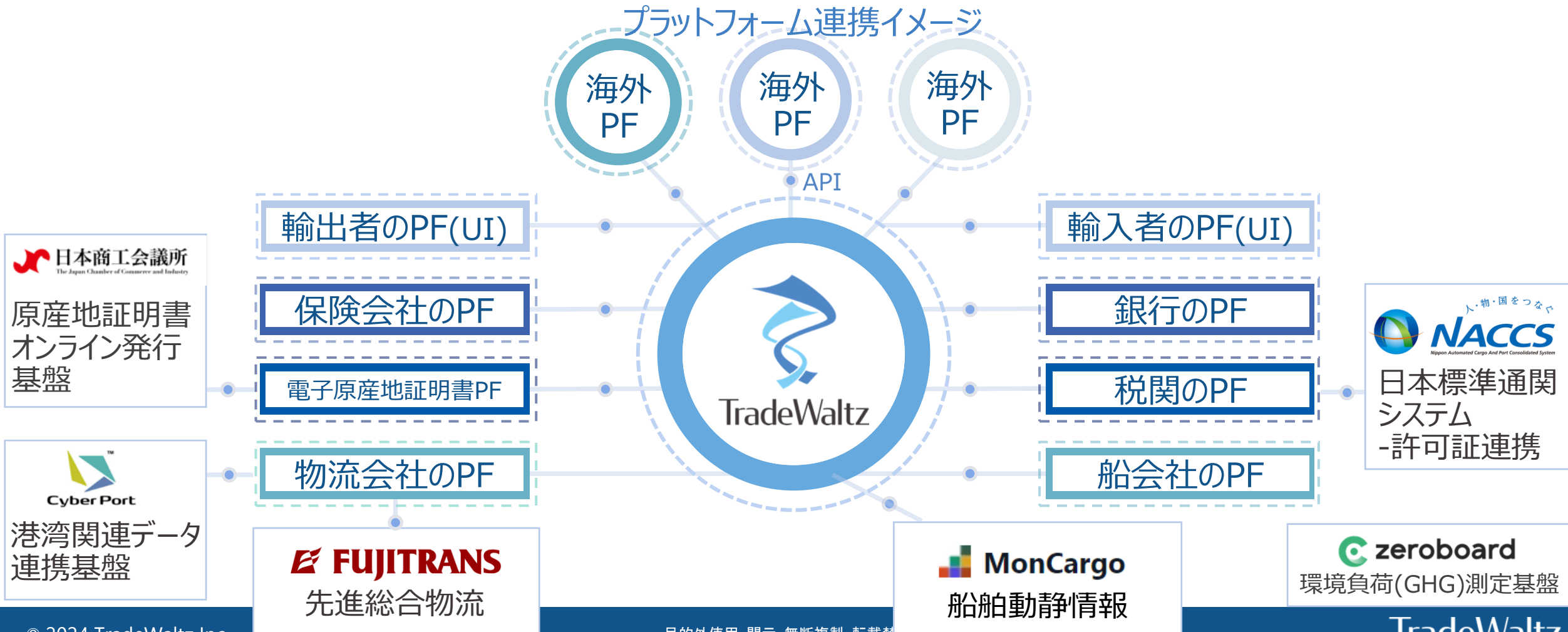
After



打ち直し不要の最新データ共有

補助金活用の成果

- ・他プラットフォームとも連携を加速 ⇒ 産業横断型貿易情報連携PFへ
- ・お客様の貿易DX投資のハードル大幅減 ⇒ 貿易一元管理＋業務効率アップ



トレードワルツ利用・連携のための補助金利活用

- ・貿易電子化の実現は、①ユーザー拡大、②システム連携が不可欠
- ・今年度は、補助金でTradewaltz効果検証にかかるサービス利用料も補助
- ・TradeWaltzを利用する場合は以下の類型が該当

種類	概要	補助対象	上限額	補助率	備考
類型 1	TradeWaltzと各社の基幹システム接続	日本国の法人	5,000万円	大企業：1/2 中小企業：2/3	申請額の下限額あり 大企業100万円 中小企業75万円
類型 2	TradeWaltz効果検証にかかるサービス利用料（利用料金、初期設定費用、ファイルアップロード機能のマッピング費用等）		1,500万円 （補助金の最低額は50万円）		
類型 3	貿易PF同士のシステム接続		5,000万円		

ご清聴いただき、有難うございました。

二次公募が発表されました。活用に向け「貿易PF活用補助金セミナー」を行います。

tw.pr@tradewaltz.com

申込フォーム



目的外使用・開示・無断複製・転載禁止

輸出・輸入業務 ご担当者様へ

＼ 2次公募スタート ＼



TradeWaltz 利用に向けた 貿易PF活用補助金セミナー

～補助金を活用して貿易DX始めませんか？～

「補助率」
大企業 1/2
中小企業 2/3

テーマ：貿易PF活用補助金を利用した貿易DXの取り組み

今回のセミナーでは、補助金の概要説明だけにとどまらず、補助金活用に至るまでの他企業様の課題や解決に向けた取り組みについてお話をいたします。

開催日程

第1回： 6月20日(木)15:00-16:00

第2回： 6月25日(火)13:00-14:00

第3回： 6月27日(木)15:00-16:00

実施方法

オンライン(Zoom)

対象者

輸出・輸入業務担当、税関事後調査にかかわる方

申込URL

<https://form.run/@twpr-tzirweReOFSJM3iTiB0n>

申込期限

各日程の1時間前までにご登録をお願いいたします

問合せ先

tw.pr@tradewaltz.com

株式会社トレードワルツ セミナー事務局 平岡、松本、中尾

申込フォーム

